

しゅわ 手話について

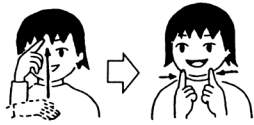
しゅわ りかい 手話はどんなものか理解しよう

- ・ 手話とは、耳が不自由な方（ろう者）が使っている言語である。
- ・ 明治11年、京都で行っていた耳が不自由な人のための教育から手話が生まれた。
- ・ 各国によって、また、各地域によっても違いがある。
- ・ 主に耳が不自由な方がお互いに話をするときに使いますが、耳が不自由ではない人も手話が分かれば、耳が不自由な方の話を理解したり、逆に自分の気持ちを伝えたりすることができる。
- ・ 話した言葉を瞬時に手話で表現できる手話通訳者という人がいる。

つか しゅわ おぼ よく使われる手話を覚えよう

はじめまして

〔解語〕人差指で「1」、つまり初めてということを表し、次に指で人が会う様子を表現する。



□下に向けた掌を上げつつ人差指を出して握り
□両手の人差指を向かい合わせて立て近づける。



こんにちは

〔解語〕顔の前に重ねた掌を開く動作で、「明るい」こと、つまり「昼」を表現し、次に、人差指で二人の人が互いにおいさつしている様子を表現する。

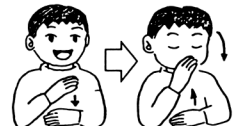


□顔の前で手の甲を内に向けて掌を重ね、
□両手の人差指を向かい合わせて曲げる。



ありがとう

〔解語〕手刀を切るしくさで、感謝の気持ちを表現している。



□右手で左手の甲を軽く叩き…
□右手を上上げて頭を下げる。

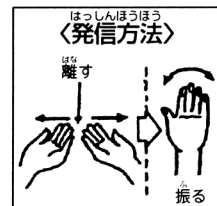


さようなら

〔解語〕指で、互いに背を向けあって離れていく様子を表現した後、手を振って別れを表現する。



□背をつけ合わせた指を開き…
□手を振るしくさをする。



「たのしい手話 学校生活編」(東陽出版)より

しゅわ つか とき 手話を使う時のマナー

- ・ 前を向いて大きくはっきり表す。
- ・ 顔の表情も豊かにする。
- ・ 黒っぽい服の方が手話が見やすい。
- ・ 位置や空間を上手に使う。
- ・ よく伝わらない場合は、用紙に文字を書いて説明する。

